

令和6年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金  
一般助成事業 講評

別紙6

全体講評

申請のあった各事業は、それぞれ独自の目的と実施方法を打ち出しており、成果を楽しみにするとともに、より活発な市民活動が展開されるものと期待しています。  
 ただし、事業継続のための工夫や仕組みをどう作るかが共通の課題だと考えます。マッチングファンド一般助成事業の助成終了後も事業を継続するために、どうすべきかを意識しながら実施していただければと思います。  
 事業の実施に当たっては、事業目的に対しどのような効果があったか、計画時と実績報告時の経費や参加人数等の見込みの差異、継続できる運営体制をどう整備していくかなどを意識しながら実施していただくようお願いします。  
 事業の継続に当たっては、団体の理念やビジョンに基づいて実施した本事業の成果を振り返ることが大切だと考えますので、各団体において、振り返りの機会を設け、今後の方向性や団体内の意見が整理されることを期待します。

選考結果	団体名	事業名	講評
○	特定非営利活動法人 岩槻・人形文化サポーターズ	日本の伝統文化である節句まわりの継承	<p>本事業は、伝統文化である節句の継承や岩槻への集客を目指した事業として、一定の評価が出来ます。一方で、観光的側面を意識するのであれば、さいたま市外・県外へのアピールをさらに行うべきと考えます。特にSNSの活用など、発信したい世代に合わせたPRは重要だと思います。また、助成金申請額も高額であることから、継続性にも不安が残ります。</p> <p>今後は、当事業のターゲットや意義、効果等についても団体内で再確認していただくとともに、若い世代を含め、より多くの方を巻き込んだ事業を実施し、事業の効果を検証されることを期待します。また、伝統文化の継承に当たり、継続した事業の実施も重要ですが、毎年、内容の精査をしながら、次の世代へ伝えていくための発展的な変化も期待します。</p> <p>予算面においても、協賛企業数の増加や少額の協賛金の設定等により収入の増加を目指していただくとともに、支出面においても、各経費について工夫して減額するなど、見直しを図りながら、実施していただきたいと思えます。</p>
○	Happyマルシェ運営委員会	Happy マルシェ	<p>本事業は、ニーズを生み出しながら地域の活性化に貢献する有意義な事業であると評価できます。また、マッチングファンド事業としては、まだ1年目でありながら短期間で成果を集めており、将来的な成長の可能性も感じます。</p> <p>一方で、運営においては、限られた人数で運営されていることから、透明性や継続性、運営体制にも不安が残ります。今後の運営体制をどうすべきか、どう広げていくか、また、市との協働をどう進めていくかについては、特に意識しながら事業を進めていただくことを期待します。</p>
○	さいたまふたご・みつごサークルPeanuts CLUB	妊娠期からの多胎ファミリー教室	<p>本事業は、市の事業としても手が届きにくい内容であることから、ニーズの高さが感じられ、今後の活動にも期待感が持てる事業であると評価できます。</p> <p>今後の運営に当たっては、多胎に関する情報を積極的に発信していただき、多胎のファミリーが抱える悩みを解決するとともに、多胎ファミリーの交流が促進されることなども期待します。また、オンライン開催の増加など参加しやすい体制づくりや、運営費の面など、今後も事業が継続する工夫を検討していただきたいと思えます。</p>
○	岩槻観光委員会	幻の鉄道「武州鉄道」開業100周年記念事業	<p>本事業は、100周年を迎える貴重な史跡を巡る事業であることから、ロマンがあり今後につながる可能性のある事業と評価できます。一方で、事業内容としては、マニアックな印象も受けるため、ターゲットとしている、鉄道ファンや歴史ファンのみならず、より広い層へのPRも必要だと考えます。</p> <p>今後は、中高生ボランティアを含めた幅広い層との連携や沿線のあった近隣自治体等との連携を密にいただくとともに、どのような情報発信をしていくかなど、PR方法の工夫を期待します。また、事業の実施に当たっては、武州鉄道の魅力の掘り起こしや来場者の目的を調査、分析することが今後の展開において大切であるため、事業を実施される中で魅力の発見や来場者へのヒアリング等をしていただきたいと思えます。</p>